

藤井小学校の良いところ!!
あんな声・こんな声たくさん届いています

藤井小学校の教育活動や地域ってこんなにすてきなんですよ

<保護者の方から>

- 田植えやかんぴょうむき体験など、この学校でしか経験できない授業は、一生の思い出になります。(K・K様 H・A様 M・Y様)
- 地域の方々に協力していただいて、貴重な体験ができます。(M・H様)
- 地域の皆さんが子供たちを温かく見守ってくれます。(K・K様 Y・Y様)
- 一クラスで6年間、友達と長い時間を過ごすため、子供たち一人一人の人間関係の結びつきが強くなったり、別の学年との交流で縦のつながりもでき、学年を問わず友達ができるので、面倒をみてもらったり、学年が上がると面倒をみる側になったりと、学校生活の中で自然に身に付くのではないかと思います。壬生高校との交流も魅力です。(Y・S様)
- なかよし班のような学年を超えた活動が充実しており、高学年では責任感やリーダーシップを発揮できる機会が多いと思います。(M・Y様)
- 先生方が子供たち全員のことをよく知っていて気にかけてくれるところです。小さい学校なので、よい意味で先生との距離が近くてアットホームな雰囲気が良いところだと思います。親も何かあったときには先生に相談しやすく、すぐに対応していただけるのでありがたいです。(H・K様)
- 学校教育活動及び放課後子ども教室や学童も含め、人間的な関係を基礎として、子供たちが大切にされており、小規模校の良さを生かした藤井小学校固有の教育体制が実施されています。また、子供たち自身も自分が大事にされていることを自覚できる場となっており、安定した人間関係の中で安心して学び成長できる環境です。(M・I様 K・I様)
- 日常の授業及び学校行事などにおいては、子供たち及び教職員が積極的にに関わり、責任をもって参加し、何事も一人一人が協力して自分たちでつくりあげていくことを学べる環境にあります。(大勢の中の一人として、受け身のままで全てが過ぎていくようなことが起こりにくいです。管理や規則等に重きを置き過ぎる必要も無いです。一人一人が関わり、主体性を育みながら、力を伸ばしていきけることは小規模校の良さです。)(M・I様 K・I様)

<地域ボランティアの方から>

- 休み時間には、先生方が児童たちとスポーツを楽しんだり一緒に遊んだりしています。掃除も先生方と一緒にしています。ランチルームで全校児童が給食を食べています。(平常時)
学校からの情報発信力が高いです。(ホームページの細やかな更新、「学校便り」「校長瓦版」など)
(K・H様/スクールガードリーダー)
- 地域によっては、小学校の存在は大きく、歴史もあるのでいざというときにはまとまって対応できるように思います。私自身も母校である藤井小学校は、思い出の宝庫であり、大切であり、誇りと思っています。学校と地域のまとまりを感じます。(H・S様 M・T様/読み聞かせ)
- 保護者が下校の時に先生と話ができるので、学校の様子が手に取るようにわかります。
(M・O様/読み聞かせ)

藤井小学校の子供たちってこんなにすてきに育っています



<教職員から>

- ★素直で、子供らしいです。伸び伸びしています。愛されて育っているなと感じます。高学年になるとリーダーになる自覚と責任を自ら意識することができています。(M・K先生)
- ★コロナ禍ですが、少人数のメリットを生かし、他学校では難しい活動も行うことができます。発表や活動の機会が多く、順番待ちなどの時間が少ないことも魅力です。タブレットを取り入れて学習することが多く、上達も早いと感じます。(H・M先生)
- ★学年の枠を超えてお互いに学び、助け合うことができます。校長先生と気兼ねなく遊ぶ姿を、たくさん見かけます。(校長室が開放的です。)(T・Y先生)



<学校運営協議委員の方から>

壬生小学区から藤井小学校へ子供を通わせている保護者です。入学前は登下校の不便さや地域との交流行事に他地域からの親子が馴染めるかなど、保護者としての心配もありました。しかし、私が子供の頃、藤井小や羽生田小から壬生中へ進学してきた同級生は、身体能力や学力のバランスが良く、小規模校という環境が児童一人一人に行き届く教育に繋がっていると勝手に想像をし、我が子を通わせる決め手としました。実際に就学させてみると、その通り、授業でも学校生活でも児童一人一人に向けられる先生方の熱量がより多く、たくさんの体験や知識を得ることができます。また、同級生はもちろん全校児童の名前が言えるほど、上下級生との縦の繋がりも強く、「上級生を敬い、下級生の面倒を見る」というコミュニティー形成に必要な「自分から行動する」という自発性を自然に身に付けていきます。保護者の視点からも登校時は、東下台から登校班で安心して送り出せるし、放課後児童クラブ・放課後子供教室(「みちくさ」)も充実、少人数ならではの地域行事では、プライスレスな体験ができます。今では、楽しそうに学校へ向かう子供を見て、「子供の楽しみは親の喜び」だと感じながら、次女が藤井小に通う時を待ち望んでいます。(M・M様)

<共通学区にお住まいの保護者の方から>

- 同学年の友達との関わりだけでなく、上級生、下級生との交流が大きい学校では、少ないのではないかと思います。それを思うと、藤井小は、全校児童で何かをすることが多いので、子供にとって良いのではないかと思います。一人一人に役割を与えることで、自分から行動する力を身に付けることができます。(S・M様)
- 小さい学校ならではのところが、一人一人よく見ていただき、ていねいに勉強も教えてもらい、いろいろな体験もできる場所なので、子供たちも喜び、とても良いと思います。(M・W様)

共通学区って何ですか？

壬生小と藤井小、共通の学区のことを言います。「壬生町立小・中学校通学区域に関する規程」第3条の2には以下のように述べられています。(通学調整区域)「壬生小学校通学区域のうち、下表町、中表町、東下台、旭町、星の宮、下台団地、駅東及び県営壬生住宅の通学区域に住所が属する児童の保護者は、通学調整区域として前条の規定にかかわらず、藤井小学校に通学させることができる。」

以上のことから、上記にお住まいの方は、壬生小学校か、藤井小学校かを自由に選択することができるのです。

